

学びの庭に
おじゃまします

「豆」にもいろいろありますが、やっぱり「大豆」は主役級なのですね。作物学の國分牧衛先生からお聞きするのも、主に「大豆」のお話です。ちなみに学術界では、作物（植物）名を示すときはカタカナ表記、食材としては漢字でよいのだそうで、本記事でも使い分けております。

豆の作り方から地球の未来を考える

ダイズ栽培の難敵は鳩

私の名前の牧衛には、「牧場を衛る」という意味が込められています。岩手県滝沢村（現・滝沢市）で牧畜を営んでいた、祖父による命名です。父のあとには兄が継ぎ、次男である私は牧草について学ぼうと東北大学に進みました。

卒業後は大学院ではなく、農林水産省の機関で研究に携わりました。給料はもらえますが、研究対象は自分では選べません。最初はイネ、数年後にはダイズの研究チームに配属され、結局は牧草ではなくマメ科が専門分野になりました。

豆類、特に大豆は、人の体に有益な成分を多く含む優れた作物です。日本産の大豆の品質は高く、宮城県の作付面積は北海道に次ぐ第2位。しかし単位面積あたりの収量ではイネなどの穀類に及ばず、農家にとっては収益を上げにくい作物です。日本では1ヘクタールあたり米が5トンから6トン取れるのに対し、大豆は2トン程度。炭水化物が主成分である穀類よりも、タンパク質や脂質を多く含む豆類は、成長に50%から60%も多くのエネルギーが必要なのです。

ダイズの品質、栽培のしやすさ、単位面積あたりの収量などを向上させて、栽培農家を豊かにすることが、私が勤めていた研究機関の使命でした。その主な方法は「品種改良」です。何



東北大学名誉教授
専門=作物学

國分 牧衛先生

〈プロフィール〉(こくぶん・まきえ)1950年岩手県生まれ。東北大学農学部卒。農学博士。農林水産省の研究所勤務（東北農業試験場、農業研究センター、国際農林水産業研究センターなど）を経て、2000年から2015年まで東北大学大学院農学研究科教授。2014年、日本農学賞・読売農学賞を受賞。著書・監修・編に「大豆まるごと図鑑 すがたをかえる大豆」、「作物栽培大系 5 豆類の栽培と利用」、「新訂 食用作物」、「そだててあそぼう 9 ダイズの絵本」など。

世代にもわたって交配を重ね、その結果を検証します。

実際に栽培して確かめる必要があるため、一般の農家と同じく、鳥による食害や病害虫には悩まされました。中でも鳩は、ダイズの芽を食べ尽くしてしまう難敵です。ネットをかけたり音を出したり。カカシよりもマネキンが有効なことが分ると、デパートから中古品を購入し、農場に何体も立てました。しかし鳩も学びます。ときどき服を着せ替えないと人間でないことに気づくので、友人から古い服をいただいは着せ替えていました。

その後、栽培技術の普及による国際貢献を目的とした研究機関などを経て、2000年からは東北大学に移りました。主な研究テーマは3つ。豆類と根粒菌こんりゅうきんの関係、光合成の最大化、そして「ムダ花」の問題です。

窒素肥料は豆類に学んで開発された

豆類は、肥料分の少ない土地でもよく育ちます。化学肥料が普及する前は、やせた畑に豆類を植え、収穫後に鋤き込むことで土を豊かにしていました。日本ではダイズ、ヨーロッパでは家畜の飼料となるクローバーが一般的です。

豆類が持つこの力の秘密が解明されたのは、今から130年ほど前でした。根にできる小さなコブの中から、空気中の窒素を取り込んで植物に供給する細菌が見つかったのです。土の中にいるこの根粒菌にはいくつか種類があって、自分と相性の良い植物を選んで根に入り込みます。そうして窒素を供給する一方で養分を受け取るのです。

このことから作物の成長に窒素が重要であることが分かり、現在では化学的に合成された窒素肥料が、作物の成長促進に用いられています。人間がイネやコムギの生育をコントロールできるようになったのは豆類のおかげです。ところが豆類そのものは、土の中の窒素分が多すぎると根粒菌がうまく働かず、かえって生育が悪くなります。豆類と根粒菌の関係は、実にデリケートなのです。

次に光合成の最大化。イネ科の植物に比べてダイズの葉は大きく、しかも横に広がっています。太陽の光を受けるのには良いのですが、実はダイズは暑さに弱いのです。このため日中は葉をたれさせて、温度が上がりすぎない仕組みになっています。収量や品質を向上させるために太陽エネルギーを有効に活用するには、色々条件を変えて試す必要があるのです。

そして「ムダ花」。昔は「オヤジの説教とナスビの花には、千に一つも無駄がない」などと言われました。オヤジの説教は

ともかく、ナスの花はほとんどが実を結ぶのは本当です。ところがダイズは1株に100以上も花をつけながら、20から30ほどにしか実がなりません。これにはホルモンバランスが関係していることが分かっています。

これらの研究結果から、日本のダイズ栽培では、単位面積あたりの収量を最大で3倍まで増やせることが分かりました。品種改良や栽培技術の向上によって多収を実現するにはまだ時間がかかりますが、理論的な道筋はつけられたと思います。一昨年、この研究成果に対して「日本農学賞・読売農学賞」をいただきました。

農業や食べ物の知識を子どもたちに

私は専門書だけでなく、子ども向けの本の執筆にも積極的に関わってきました。私の専門は「植物としてのダイズ」ですが、そうした本では子どもたちに関心を持ってもらえるように、「食品としての大豆」についても多くを記述しています。

10年ほど前には小学校3年生の国語教科書（光村図書）に、「すがたをかえる大豆」という文章を書きました。これも豆腐や納豆が大豆から作られることを取り上げたものです。教科書は4年ごとの更新ですが、幸い好評で3期目に入っています。

子どもに合わせた言葉や表現を選ぶのは大変です。しかし私はこれらの仕事に、強い危機意識を持って取り組んでいます。

今の子どもたちの多くは食料の生産現場に触れることなく育っていて、スーパーに並んでいる食品を、どこかの工場で作られていると思っている場合も少なくありません。しかし加工食品も土や水、太陽などの力で育った作物が原料になっていますし、それらを栽培したり加工したりする人の働きがあって、はじめて私たちの口に入ります。食べたものは私たちの体を作り、排出後も姿や形を変えながら地球の中で循環しています。日本の農業や地球環境が危機に直面している今、私は子どもたちに、こうしたことをぜひ知ってほしいのです。

教科書の掲載文も、国語教材としての目的は説明文としての構成を読み取ったり、さらに詳しいことを調べて発表したりすることです。しかし私は自分が食べている食品や、日本の優れた食文化にもっと関心を持ってもらいたいという願いを込めて書きました。最後を「大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされます。」という言葉で結んだのはそのためです。

大豆の用途は食品だけではなくありません。むしろ食用油の原料

懸賞

図書カードを当てよう！ まなびめクイズ 正解者の中から抽選で3名様に図書カード1000円分をプレゼント

Q.2 「作物の成長に窒素が重要」と分かるきっかけとなった細菌は？

※応募にはQ1とQ2両方の答えが必要です。正木森介先生の記事もご覧ください。

応募方法

はがき、FAX、E-mailのいずれかで、①住所、②氏名、③年齢、④職業、⑤電話番号、⑥クイズの答え2つ、⑦「まなびめ」の入手場所、⑧内容についての感想を明記して編集部まで応募ください。

※当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※応募いただいたお客様の個人情報は弊社主催のイベント案内、連絡及び発送に限り利用させていただきます。

【応募締切】2016年8月31日 当日消印有効



用がもっとも多く、油をしぼったあとも、醤油などの原料、家畜用の飼料、肥料などに使われます。日本は現在ほとんどを輸入に頼っていて、自給率は10%にも達していません。かつて輸入は中国からが多かったのですが、現在は米国が最多で、ブラジルやカナダが続いています。

今は輸入国となった中国をはじめ、食用油の需要は世界的に増加しています。輸出国はより高く売ろうとしますし、不作に見舞われることもあるでしょう。また私たちの目の届かないところで、危険な農薬が使われている可能性も否定できません。

そして今では除草剤に強い「遺伝子組み換えダイズ」が、日本以外の国での多数派になっています。健康への影響に不安を持つ人が多い日本では、栽培はほとんど行われていません。豆腐や納豆の原材料も多くは輸入品ですが、これらには遺伝子組み換えかそうでないかを表示する義務があります。しかし食用油や醤油では義務づけられておらず、実際、食用油には遺伝子組み換え大豆を使っている場合がほとんどです。健康への影響については、今の段階では何も確かなことは言えません。しかし生態系への影響は既に広がっていて、交雑による「除草剤に強い雑草」などへの対策に追われ始めています。

今年「国際豆年」です。この機会に豆という身近な食べ物から、栄養や農業、国際関係や歴史などへ、学びを広げてみてはいかがでしょうか。勉強は一人でするだけでなく、ご家族やお仲間と一緒に読んでみるのも良いでしょう。私自身も研究生活からは卒業しましたが、文部科学省とJICA（国際協力機構）による、農業技術による途上国支援事業でコーディネーターを務めています。アフリカや東南アジアの国々を訪ねて国際貢献をしつつ、これからも学び続けたいと思っています。

(取材=2016年5月20日/笹氣出版印刷株式会社 小会議室にて)

Web版はより多くの情報を
随時更新しています。

まなびのめ

検索

http://www.manabinome.com/

7
JUL

| | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 【女性の健康】 | 7月16日(土) 13:30▶15:00 |
| 講 師 菅原 詩緒理 (仙台白百合女子大学健康栄養学科講師) | 無料 要申込 |
| 場 所 仙台白百合女子大学 (5号館 531室) | |
| 主催者 仙台白百合女子大学大学広報室 | 問合せ Tel. 022-374-4475 |
| URL http://sendai-shirayuri.ac.jp/ | |

| | |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| 特別展連続講座 「インドシナ半島の歴史と美術入門」 | 7月16日(土) 13:30▶15:00 |
| 講 師 後藤 恒 (福岡市美術館学芸員) | 無料 申込不要 |
| 場 所 東北歴史博物館 3階講堂 | |
| 主催者 東北歴史博物館・河北新報社・TBC東北放送 | 問合せ Tel. 022-368-0106 |
| URL http://www.thm.pref.miyagi.jp/ | |

| | |
|--|---|
| みちのくウイルス塾 (日本ウイルス学会後援第15回ウイルス学夏の学校) | 7月16日(土)～7月17日(日) 13:30▶17:30 |
| 講 師 本田 文江 (日本大学薬学部上席研究員) 他 | 無料 申込不要 |
| 場 所 仙台医療センター 管理棟3階大会議室 (17日は9:00～13:00) | |
| 主催者 仙台医療センター・ウイルスセンター | 問合せ Tel. 022-293-1173 |
| URL http://www.snh.go.jp/Subject/26/juku/ | |

| | |
|--|--------------------------------|
| 第33回日本小児難治喘息・アレルギー 疾患学会 市民公開講座 「よくわかる子どものアレルギー」 | 7月17日(日) 14:00▶16:00 |
| 講 師 佐藤 俊彦 (東北文化学園大学医療福祉学部准教授) | 無料 申込不要 |
| 場 所 仙台国際センター 3階 白樺 | 定員 300名(当日先着順) |
| 事務局 宮城県立こども病院 | |
| URL http://www2.convention.co.jp/33jspiaad/pdf/seminar.pdf/ | |

| | |
|-------------------------------------|--------------------------------|
| 第5回館長講座 「坪井正五郎と石器時代住民論争」 | 7月23日(土) 13:30▶15:00 |
| 講 師 鷹野 光行 (東北歴史博物館館長) | 無料 申込不要 |
| 場 所 東北歴史博物館 3階講堂 | |
| 主催者 東北歴史博物館 | 問合せ Tel. 022-368-0106 |
| URL http://www.thm.pref.miyagi.jp/ | |

| | |
|---|--------------------------------|
| 八木山動物公園コラボ企画 学芸員による動物トーク | 7月24日(日) 13:30▶14:30 |
| 講 師 八木山動物公園・仙台市博物館学芸員 | 無料 申込不要 |
| 場 所 仙台市博物館ホール | 定員 200名 |
| 主催者 仙台市博物館 | 問合せ Tel. 022-225-3074 |
| URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/ | |

| | |
|--|--------------------------------|
| 市民開放公開講座「今、子供たちに何が起 きているのか～いじめから子供を守る～」 | 7月27日(水) 14:00▶16:30 |
| 講 師 滝 充 (国立教育政策研究所総括研究官) | 無料 要申込 |
| 場 所 仙台国際センター大ホール | 定員 100名 |
| 主催者 仙台市教育センター | 問合せ Tel. 022-251-7441 |
| URL http://www.sendai-c.ed.jp/ | |

| | |
|-------------------------------------|--------------------------------|
| 第46回教化フォーラム 「禅とマインドフルネス」 | 7月28日(木) 13:30▶15:30 |
| 講 師 香山 リカ (精神科医・立教大学教授) | 有料 要申込 |
| 場 所 メルパルク仙台 | 定員 100名 |
| 主催者 曹洞宗東北管区教化センター | 問合せ Tel. 022-218-1381 |
| URL http://soto-tohoku.net/ | |

| | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 市民公開講座 No.347 政治のなかの憲法 | 7月29日(金) 18:00▶19:30 |
| 講 師 片山 文雄 (東北工業大学教職課程センター准教授) | 無料 申込不要 |
| 場 所 東北工業大学一番町ロビー 2階ホール | 定員 120名 |
| 主催者 東北工業大学 | 問合せ Tel. 022-723-0538 |
| URL http://www.tohtech.ac.jp/ | |

| | |
|--|--------------------------------|
| `夏休み 親子で参加` 「文字で遊ぼう！何を作ろう？」 | 7月30日(土) 13:30▶15:00 |
| 講 師 妹尾 知昭 (仙台白百合女子大学人間発達学科准教授) | 無料 要申込 |
| 場 所 仙台白百合女子大学 (5号館 531室) | 定員 小学生以上と保護者10組20名 |
| 主催者 仙台白百合女子大学大学広報室 | 問合せ Tel. 022-374-4475 |
| URL http://sendai-shirayuri.ac.jp/ | |

※登壇者（講師、演者、担当者）については敬称略



「学び」イベントに行ってきました

| |
|---|
| ■ NPO 法人宮城歴史資料保全ネットワーク歴史講演会 「よみがえるふるさとの歴史」 |
| 講 師 東北学院大学文学部歴史学科教授 菊池 慶子 氏 他 |
| 2016年4月23日(土) 14:00～ |

講演会でお話しをされる方の中に、私が卒業した大学のよく存じ上げていた先生がいらっしゃったということもあり、参加することを決めました。

身近な仙台のことと震災の話テレビなどで見る機会はたくさんありましたが、古文書や石碑を通して災害に関わる研究をしている話は聞いたことがなかったのでも興味深かったです。特にクロマツの植林に関して、仙台藩主導で行われた経緯があったことや、干ばつの被害があった際に、植林されたクロマツを地域の人々が伐採・売却して飢えを凌いだ話がとても驚きました。

今まで自治体史に書かれていなかったようなことが、植林史などの別の視点からみることで新たに発見できる。こういった視点を持つことを、自分も日頃から意識していきたいと思いました。

(白石市 佐藤)

■レオナルド・ダ・ヴィンチと「アンギアーリの戦い」展

2016年5月14日(土) 宮城県美術館

日本初公開の作品が展示されているということで、宮城県美に行ってきました。

初公開なのは『タヴォラ・ドーリア』と『カッシナの戦い』という作品。

二作品とも原作が失われてしまっている壁画なので原案をもとに模写したものであるのだけれど、長い年月を経て、今ここで同時に見ることができるなんて何だか不思議な感じがしました。

(盛岡市 いとう)



「学び」イベントに参加したら感想を書こう!

「学び」イベントに足を運ばれた読者の皆様から寄せられたご意見ご感想、講義内容のレポートを、「学び」イベントに行ってきました」のコーナーでご紹介しています。ぜひご投稿ください!

| | |
|---|--|
| 【投稿者プレゼント】 ご投稿いただいた全員にもれなく粗品をプレゼント! 掲載採用させていただいた方のうち毎号1名様1000円分の図書カードを進呈! ※採用の可否、図書カード当選者は編集部に一任いただきます。 |  |
| ■投稿内容 ・イベントタイトル ・開催日時 ・会場 ・登壇者(講師・演者等) ・参加体験記(420字以内) ・氏名(ペンネーム) ・連絡先 | ■投稿方法 はがき、FAX、E-mail、Web版投稿フォームのいずれかよりご投稿ください。 ■投稿先 「まなびのめ」編集部 ※詳細は最終ページをご覧ください。 |

「まなびのめ」主な設置場所

「まなびのめ」紙版は、主に下記の場所です。見当たらないときはお気軽にお問い合わせください。

- ・宮城県内各大学
- ・宮城県内主な文化施設 (宮城県図書館、宮城県美術館、東北歴史博物館、仙台市各図書館、仙台市博物館、仙台文学館、スリーエム仙台市科学館、地底の森ミュージアム、仙台市歴史民俗資料館、仙台市天文台、感覚ミュージアムなど)
- ・宮城県内主な会館 (東京エレクトロンホール宮城、日立システムズホール仙台、仙台市民会館、仙台市戦災復興記念館、名取市文化会館、岩沼市民会館、えぞこホール、白石市ホワイトキューブ、まほろばホールなど)
- ・主な市民センター (仙台市)、公民館 (仙台近郊)、公立図書館 (仙台近郊) など

「まなびのめ」配色法：製色目(かさねのいろめ)

第33号・夏/「破莖蒲」(ha syōbu)



Voice Park

読者と編集部
のキャッチボール

第32号 主権

Voice Park 楽しみに読んでいます。編集部のコメントがていねいであたたかい気持ちになります。(仙台市青葉区・56歳 女性)

編：編集部でも、読者のみなさまからの声を楽しく拝見しております。やはり、反応をいただけるというのは嬉しいものです。

政治や主権についてあらためて「なるほど」と深く勉強することができ、とてもありがたく感謝しております。これからもときどき目を通し、わが頭を活性化させたいと思っていますとこです。(仙台市宮城野区・89歳 男性)

編：「政治」や「主権」はテレビでもよく特集されている内容ですが、現状の政府の方針をベースにプラスαとして報道されている事が多く、基本的な内容をお届けする機会が意外と無いように感じていました。32号の糠塚先生・吉田先生のインタビューで「なるほど」と思っただけ「狙い通り!」と感じております。

いつもありがとうございます。「学び」イベントを利用していろいろ参加いたしております。(黒川郡富谷町・64歳 女性)

編：「学び」イベントはいかがでしたか? 「こんな話が面白かった」など簡単なもので構いませんので、研究者や読者のみなさまに「学び」イベントでの体験をお伝えいただければ幸いです。

政治や主権に関することは、ひとりの教員が教えられることではありませんね。アクティブ・ラーニングという言葉が一人歩きして、義務的にやらせるような良くない状況も有りますが、適用されるべき領域もあるようです。正義や政治、正解の見つからないテーマこそ、考え、話し合う必要があると感じます。(仙台市青葉区・36歳 男性)

編：何が正義であるか、政治とは国民にとってどうあるべきか、主権者教育にどう関わっていくか等について考え、話し合いの場を持つことは、大人にとっても子どもたちにとっても今後ますます大事になっていくでしょう。

今までの「まなびのめ」テーマ一覧を見て、自分の目が釘付けになりました。これまでの冊子を手元に大切に保管し、時折読み返しています。最初に手にしたのは第19号です。以来、毎号大切な情報誌として3ヶ月が待ち遠しくなりました。Web版もあるとの説明ですが、パソコン無縁の私なので、毎号手にするのを楽しみにしています。毎号読める機会を与えている貴誌、そこから得る喜びを味わっています。知人にも紹介しました。読者が微増するでしょう。感謝します。(名取市・76歳 男性)

編：大切にご愛読いただけているのを感じ、胸が熱くなりました。冥利に尽きる、の一言です。編集部共々精進してまいりますので、これからもよろしくお願い致します。もし、バックナンバーをご希望の際は、どうぞお声がけくださいませ。

初めて拝見しましたが、興味深いイベントが何件ありました。次回号も楽しみにしています。(仙台市青葉区・27歳 女性)

編：はじめまして。Web版にも、さらに多くのタイムリーなイベント情報が随時更新されていますので、今後ともぜひご活用ください。

その他のお便りと編集部からのコメントはWeb版でご覧いただけます。

| | |
|---|-------------------------------|
| 第32号 まなびのめクイズの正解発表!! | 「まなびのめ」第32号懸賞クイズの正解は下記のとおりです。 |
| Q.1 フランスで「議員数を男女同数に」を目指す考え方を何という? | 答え バリテ |
| Q.2 知識を教えるだけでなく生徒が主体的に参加する授業を何と呼ぶ? | 答え アクティブ・ラーニング |

今号も「まなびのめ」クイズを実施しております。正解者の中から抽選で3名様に図書カードが当たりますので、奮って応募ください!! ※詳細は研究者インタビューページをご覧ください。



これからの主な

有科 無料 要申込 申込不要

「学び」イベント

▲このマークはイベント参加についての有料・無料または事前申込の有無について記しています。

7
JUL

| | |
|---|--------------------------------|
| しろ・まち講座「展覧会のみどころ紹介」 | 7月30日(土) 13:30▶15:00 |
| 講 師 仙台市博物館学芸員 | 無料 申込不要 |
| 場 所 仙台市博物館 | 定員 200名 |
| 主催者 仙台市博物館 | 問合せ Tel. 022-225-3074 |
| URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/ | |

| | |
|--|--------------------------------|
| まちなか美術講座 (第47回) 近代画家の描いた挿絵・絵本 | 7月30日(土) 13:30▶15:00 |
| 講 師 菅野 仁美 (宮城県美術館学芸員) | 無料 申込不要 |
| 場 所 東北工業大学一番町ロビー 2階ホール | 定員 120名 |
| 主催者 宮城県美術館×東北工業大学 | 問合せ Tel. 022-221-2111 |
| URL http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/ | |

8
AUG

| | |
|--|---|
| みやぎ県民大学 「私たちの食料と健康と環境」(全5回) | 8月5日(金)・19日(金)・26日(金)・9月2日(金)・9日(金) 13:30▶15:30 |
| 講 師 落合 芳博 (東北大学大学院農学研究所教授) 他 | 無料 要申込 |
| 場 所 東北大学農学部第1講義室 | 定員 70名程度 |
| 主催者 宮城県教育委員会 | 問合せ Tel. 022-717-8609 |
| 備考 申込み期間 6月20日(月)～7月15日(金) | |

| | |
|--|-------------------------------|
| 「すいみんカフェ」第4回 (睡眠改善のための少人数制トレーニング・コース) | 8月6日(土) 13:30▶15:00 |
| 講 師 佐藤 俊彦 (東北文化学園大学医療福祉学部准教授) | 無料 要申込 |
| 場 所 東北大学・大学院教育学研究科 3階306演習室 | 定員 20名 |
| 主催者 「睡眠改善プロジェクトとうほく」事務局 | 問合せ Fax 022-233-5684 |
| E-mail sendai_stress@yahoo.co.jp | |

| | |
|--|----------------------------------|
| 高校生のための心理学講座シリーズ (東北地区) | 8月11日(木・休) 10:30▶16:30 |
| 講 師 邑本 俊亮 (東北大学教授) 他 | 無料 要申込 |
| 場 所 東北大学川内北キャンパス講義棟C棟C200教室 | 定員 250名 |
| 主催者 公益社団法人日本心理学会 | 問合せ Tel. 03-3814-3953 |
| URL http://www.psych.or.jp/event/pdf/2016/koukousei/tohoku.pdf | |

| | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 第6回館長講座「縄紋土器研究の進展」 | 8月13日(土) 13:30▶15:00 |
| 講 師 鷹野 光行 (東北歴史博物館館長) | 無料 申込不要 |
| 場 所 東北歴史博物館 3階講堂 | |
| 主催者 東北歴史博物館 | 問合せ Tel. 022-368-0106 |
| URL http://www.thm.pref.miyagi.jp/ | |

| | |
|--|--------------------------------|
| ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI「ことば・心・コミュニケーション」 | 8月19日(金) 10:00▶17:00 |
| 講 師 邑本 俊亮 (東北大学教授) | 無料 要申込 |
| 場 所 東北大学川内北キャンパス (講義棟B棟サブアリーナ棟) | 定員 30名(小学校5-6年生) |
| 主催者 東北大学/日本学術振興会 | 問合せ Tel. 022-752-2011 |
| URL https://cp11.smp.ne.jp/gakujutu/seminar/ | |

| | |
|---|--------------------------------|
| 東北大学サイエンスカフェ 第131回:みんなが知らない「磁石の秘密」 | 8月26日(金) 18:00▶19:45 |
| 講 師 齊藤 英治 (東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授) | 無料 申込不要 |
| 場 所 せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア | |
| 主催者 東北大学 | 問合せ Tel. 022-217-5132 |
| URL http://cafe.tohoku.ac.jp/ | |

| | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 第7回館長講座 「編年学派とミネルヴァ論争」 | 8月27日(土) 13:30▶15:00 |
| 講 師 鷹野 光行 (東北歴史博物館館長) | 無料 申込不要 |
| 場 所 東北歴史博物館 3階講堂 | |
| 主催者 東北歴史博物館 | 問合せ Tel. 022-368-0106 |
| URL http://www.thm.pref.miyagi.jp/ | |

| | |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| 特別展連続講座 「インドシナ半島の歴史と美術入門」 | 8月28日(日) 13:30▶15:00 |
| 講 師 後藤 恒 (福岡市美術館学芸員) | 無料 申込不要 |
| 場 所 東北歴史博物館 3階講堂 | |
| 主催者 東北歴史博物館・河北新報社・TBC東北放送 | 問合せ Tel. 022-368-0106 |
| URL http://www.thm.pref.miyagi.jp/ | |

※登壇者（講師、演者、担当者）については敬称略